

お知らせ



平成31年2月14日
国際農研
熱帯・島嶼研究拠点（熱研）

熱帯・島嶼研究拠点（熱研）は第47回熱研市民公開講座を平成31年2月28日（木）に開催

ポイント

- ・第47回熱研市民公開講座「有機物による温暖化の緩和と作物生産性の維持」を平成31年2月28日（木）に開催
- ・有機物長期連用の意義、ベトナム・メコンデルタの水田における稲わら堆肥施用による効果、タイの畑圃場における有機物施用による効果などを説明
- ・持続的な作物生産へ向けた石垣島での可能性も考察

国際農研 熱帯・島嶼研究拠点（熱研）は、第47回熱研市民公開講座「有機物による温暖化の緩和と作物生産性の維持」を平成31年2月28日（木）に開催します。気候変動（地球温暖化）の緩和や土壌肥沃度の維持に役立つ有機物連用の意義、ベトナム・メコンデルタの水田における稲わら堆肥施用による効果、タイの畑圃場における有機物施用による効果などについて紹介します。また、持続的な作物生産へ向けて、石垣島や沖縄地域での有機物施用の可能性についても考察いたします。

つきましては、第47回熱研市民公開講座にご参加いただき、紙面等でご紹介いただければ幸いです。

第47回熱研市民公開講座の開催について

（日時及び場所）

日 時： 平成31年2月28日（木） 19時00分～20時30分
（18時30分 開場）

場 所： 石垣市健康福祉センター2階 視聴覚室

題 目： 有機物による温暖化の緩和と作物生産性の維持

問い合わせ先

国際農研 熱帯・島嶼研究拠点（熱研）

（住所）石垣市字真栄里川良原 1091-1

広報担当 伊敷 弘俊

Tel: 0980-88-6201、0980-82-2306 Fax: 0980-82-0614

email: pro-nekken@ml.affrc.go.jp

本資料は、八重山記者クラブに配付しています。

※国際農研（こくさいのうけん）は、国立研究開発法人 国際農林水産業研究センターのコミュニケーションネームです。

新聞、TV等の報道でも当センターの名称としては「国際農研」のご使用をお願い申し上げます。

(第47回熱研市民公開講座の内容)

熱帯・島嶼研究拠点(熱研)では、世界の熱帯・亜熱帯等の開発途上地域において農業の持続性や農産物の安定生産等に寄与する研究を行っています。熱研の研究活動の一端を分かり易く市民のみなさまに紹介し、研究活動を理解していただくとともに研究情報が市民のみなさまの生活の一助になることを期待し、熱研市民公開講座を開催しています。

2007年5月に初めて開催した熱研市民公開講座も、今回で第47回目となりました。今回の「有機物による温暖化の緩和と作物生産性の維持」では、熱帯の農耕地における有機物長期連用の意義、気候変動(地球温暖化)の緩和や土壌肥沃度の維持のために有機物連用が効果を示す事例として、ベトナム・メコンデルタの水田における稲わら堆肥施用による効果、タイの畑圃場における有機物施用による効果などについて紹介します。また、持続的な作物生産へ向けて、気候変動緩和策や土壌への炭素隔離、有機物施用などの関係についても説明し、石垣島や沖縄地域での有機物施用の可能性についても考察いたします。

今後とも、熱研発の研究情報が石垣市内の稲作・畑作農家の生産活動への一助になることを期待しています。

講演題目：有機物による温暖化の緩和と作物生産性の維持

講演内容：・有機物長期連用の意義

- ・ベトナム・メコンデルタの水田における稲わら堆肥施用による効果
- ・タイの畑圃場における有機物施用による効果
- ・持続的な作物生産へ向けて

講師：渡辺 武(熱帯・島嶼研究拠点 プロジェクトリーダー)

(八重山記者クラブへのお願い)

取材で来場される際には、受付にて名刺のご提出をお願いいたします。